



第46回文部科学大臣杯少年
少女囲碁大会で優勝し、本
県初の日本一に輝いた岩切
知輝六段＝30日午後、東京
都・日本棋院東京本院

全国少年少女囲碁大会

岩切六段 (祝吉小)

県勢初V

★「プレみや」にも掲載

本県からは小学生の部に鳥越亮太五段(11) Ⅱ三股町・三股小6年、中学生の部に鳥越瑛太七段(14) Ⅱ同・三股中3年、加藤新四段(13) Ⅱ宮崎市・本郷中1年Ⅱも出場。加藤四段は1勝2敗、鳥越五段と鳥越七段は2勝1敗で1次リーグ敗退となった。(大谷美穂子)

小学生、中学生の部があり、両部門に191人が出場。岩切六段は29日の1次リーグ(3局)と本戦トーナメント1回戦、30日の準々決勝、準決勝を勝ち抜き、決勝へと進んだ。決勝では、東京都代表の小学5年の永代斗真六段(10)と対戦。先番の岩切六段が中盤から仕掛け、着実に地を固めて14目半差で勝利を収めた。岩切六段は「勝ち上がるまでピンチもあったが、落ちていて自分の碁が打てたのが良かった。優勝は夢だったから本当にうれしい。将来は上位で活躍できるプロ棋士になりたい」と話していた。

小中学生の日本一を決める第46回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会(日本棋院主催)は29、30日、東京都の日本棋院東京本院であり、本県代表の「みやにち小学生名人」として小学生の部に出場した岩切知輝六段(12) Ⅱ都城市、祝吉小6年Ⅱが優勝した。同大会は数々のトップ棋士を輩出してきた「プロの登竜門」。岩切六段は4度目の挑戦で、本県代表としても初となる快挙を成し遂げた。